

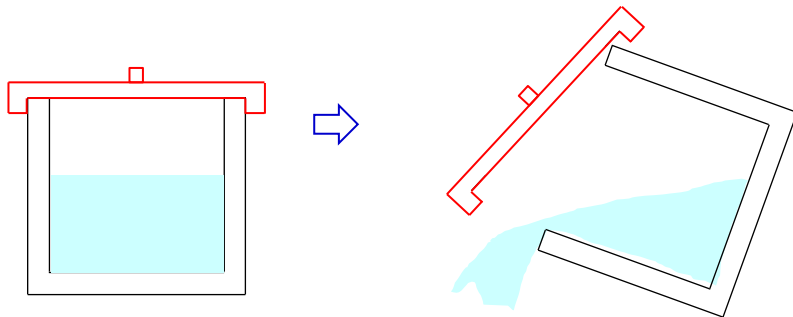
発明の内容 (発明者より)

1

▶ 発明内容

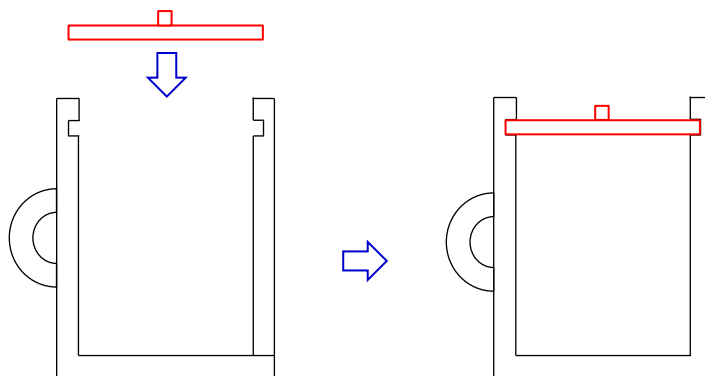
2

- 今回、蓋（ふた）が付いたコップを発明しました。
- 従来、開口部を覆うような蓋は存在しました。
- しかし、コップ（湯のみ）を倒してしまうと、中身（液体）はこぼれてしまいます。



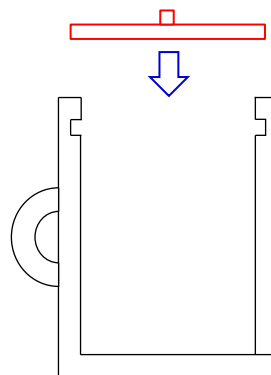
2

- そこで、蓋（ふた）が付きのコップを発明しました。
- コップ上部の内側に溝をつくり、この溝に蓋がピッタリと嵌るので、コップを倒しても、中身（液体）がこぼれません。



3

- 蓋は円形、コップも円筒であることが必要です。四角とかはダメで、楕円もダメでした。
- 溝は水平に形成されていることが必須です。傾いているとうまく嵌りません。
- 溝は図にあるように矩形が良いです。
- 溝の深さや厚さは検討中ですが、共に5mmくらいが妥当と思っています。

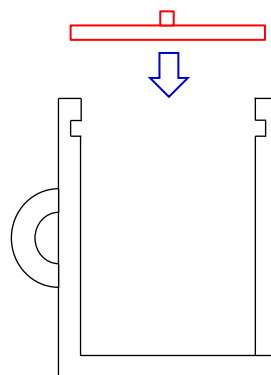


4

▶ 発明内容（発明者から聞き出したこと）

5

- 蓋は変形可能で柔軟性を有することが必要で、形状を保つためにも、ある程度の硬さも必要です。具体的にはシリコン製が良いことは分かっていますが、その他にも良い材質があるかもしれません。
- 蓋の厚さも重要でしょうが、だいたい5 mmくらいになると思います。
- コップはガラスとか、プラスチックとか、硬いものでも良いはずです。
- 取っ手は無くても良いです。
- コーヒーカップ、湯飲み茶碗、ビールジョッキを想定しています。



5

▶ 問題

6

- 請求項を書いて下さい。従属項は2つまでとします。
- 請求項の記載との関係で、明細書に記載すべきこと（ポイント）を挙げて下さい。
- パワーポイントで、各々、1ページに収まる文量にしてください。文字の大きさは18ポイント以上にして下さい。

6